

## 「あの留学生は今」

駒澤大部会 会員 高橋由美子

2010年4月に駒沢大学に留学生として来日した朱慧さんと交流をすることができ、今も交流を続けていることから、今回の企画を伝えたところ、朱慧さんの今を寄稿してくれました。

私たちの気持ちに応じて、優しい気持ちで振り返ってくださって、私たちこそ、朱さんに感謝です。コロナ禍で、昨年より各大学では留学生の来日ができない状況が続いていますが、一日も早く留学生が以前のように日本に来られる日を祈る思いです。そして再び、人と人との交流が復活する日を楽しみに待ちたいと思っております。

### 【朱 慧さんからの寄稿文】

2010年に駒沢大学に留学した朱慧です。出身校の華東師範大学は駒沢大学と長年交換留学のプログラムがありますので、留学前に、既に先輩から三井ボランティアという団体を耳にしたことがあります。「ぜひ参加してください」と先輩たちからのお勧めで、留学の一年間の中、積極的に三井ボランティア活動に参加しました。

当時の主担当は國光先生と高橋先生でした。週に一回先生たちから日本語や日本文化等を教えていただき、留学中の悩みも相談に乗っていただきました。定期的な活動以外にも、時々高橋先生の自宅にお招きいただき、色々な家族活動に参加させていただきました。

そのおかげで、留学中の私は、日本語を磨き、日本文化を学ぶことだけではなく、暖かい家族の雰囲気を感じることもできました。当時、私はちょうど大学四年生で、自分の将来の就職に悩みを抱えて、どんなキャリアに進むのかすごく迷っていました。そこで、高橋先生が自分自身の社会経験をシェアし、建設的なアドバイスをくださいました。おかげさまで、段々将来の歩む道が明確になってきました。

帰国後、上海の日系銀行に就職することになりました。日本での留学経験を活かし、仕事も順調でした。しかし、日本語学科出身のため、就職三年後、つくづく金融知識の不足を感じ、改めて学校に戻りたいといった考えが芽生えてきました。中国での進学それとも留学、と迷いました。やはり日本での留学経験から、留学は決して知識を学ぶことだけではなく、自身の視野を広げることできると深く感じ、留学することに決めました。

今度は金融先進国のアメリカに留学することになりました。アメリカで留学していた間に、日本での夏インターンシップの機会に恵まれ、2か月ぐらい日本での就職を体験しました。勤務地は東京なので、もう一度國光先生と高橋先生と再会することもできました。五年ぶりに再び先生たちが自分の未来やキャリアの相談に乗ってくださり、不思議なご縁だと思いつつ、心の底から感謝しました。

アメリカに来てから今年は既に五年目になります。現在アメリカでの米系銀行に就職しています。あっという間に、日本での留学はもう十年以上前のことです。しかし、その留学の経験は私にとって、貴重な思い出です。その一年間の留学生活がなければ、また三井ボランティアの皆様に出会わなければ、今の私はありません。そしてこの数年間、三井ボランティア活動での経験に感謝している私は、積極的に多様なボランティア活動に参加しています。自分が頂いたお世話を、他の人に伝えることができれば、一番良い恩返しだと信じています。

今はコロナのため、出国することが難しいのですが、またいつか旅行でもう一度日本に戻りたいと思います。



2018年 高橋がニューヨーク旅行滞在時に  
訪ねてくれた元駒大留学生の朱さんと湯さん。  
(忘れることのできない思い出となりました)



2019年フロリダ Key Westにて